

モデル地域の紹介

自主防災組織として先進的に活動を行っている「モデル地域」として選出された3地域の様子を紹介します。

岡山市操明学区連合自主防災会 ～三方を水に囲まれ、用水が縦断する低平地～

【構成員数】

約 2,230 世帯（13 単位自主防災会：約 7,000 人）

【地区の概要】

- ・学区内の単位町内会（単位自主防災会）が集まった連合自主防災会として、隣の町内会が被害を受けた場合、周辺の町内会が支援を行うなど、**学区全体で災害に対応する気運が盛り上がっている地域**です。
- ・町内会ホームページへの防災情報掲載、地区の運動会の応援用テントに自主防災会のテントを使用、ウォーキング大会コースに地区内の危険箇所等を組み込むなど、防災意識の高揚に努めている地域です。



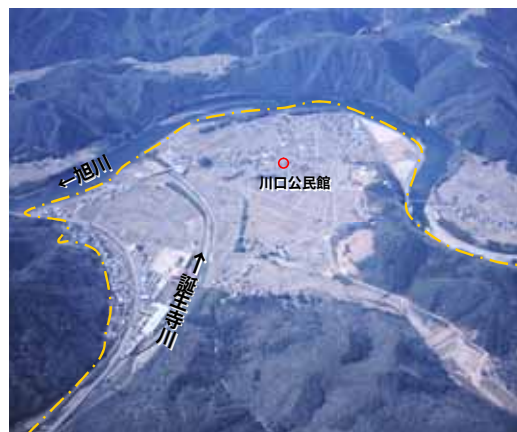
建部町川口自主防災会 ～上流に旭川ダム・地域内には旭川の支川誕生寺川～

【構成員数】

約 220 世帯（約 680 人）

【地区の概要】

- ・昭和 9 年、20 年、47 年、平成 10 年で水害経験を持つ地区で、浸水しない高台に公民館や消防機庫が整備されるとともに、**過去の水害体験から地区住民と消防が連携した防災対応の仕方ができあがっている地域**です。



真庭市（旧落合町）開田自治会 ～背後に山地、地区内を用水が縦断する地域～

【構成員数】

約 80 世帯（約 250 人）

【地区の概要】

- ・平成 10 年台風 10 号以降、当時の反省から土のう袋、土砂の備蓄を行い、消防団全員が土のう作りの講習を受けるなど**積極的な防災対応を進めている地域**です。また、高齢者の把握ができており、両隣 2 軒で協力して支援を行うようにし、日頃から家の灯りを気にするなど**地域のつきあい、助け合いが行われている地域**です。

